

～障がい・難病をお持ちの方と一緒に働くパン屋さん～



「ここで初めて自分で作るパンを食べた。おいしかった。お客さんにもこれを食べてほしいなって思ったんです。」

エスプリドゥに新しく入られた利用者様にインタビューしました！

Sさん 42歳 女性
 ・双極性障害、知的障害（軽度）
 ・取得手帳：精神保健福祉手帳 2級
 ・性格：几帳面、優柔不断
 ・趣味：カラオケ、ファッション
 ・エスプリドゥ歴：2ヶ月

●スタッフ…では早速インタビューをしていきたいと思えます。Sさん、よろしくお願ひします。Sさんは9月にエスプリドゥを契約されたので、入って2か月くらい経ちますが、通所を始めて、いかがですか？

○Sさん…楽しいです。一番嬉しいのは、出かける先ができたことです。こちらに入る前は9か月入院していて、半年間は外に出ることができなかつたので。

●そうだったんですか。それはつらかつたですね。Sさんの障がい（病気）について、具体的に教えてくださいませんか？

○はい。私の障がいは双極性障害です。あとは大人になってから、担当医の勧めで知能検査を受けたところ、軽度の知的障害があることがわかりました。

●大人になってから、実は自分に知的障害があるということがわかつたという話はよくききますね。○はい。私も今の担当医に勧められて検査したので、発覚したのは今年に入ってからです。でも、学生の頃勉強が苦手で、今考えれば知的障害があることが関係していたんだなって腑に落ちました。

●どの勉強が苦手でしたか？

○数学ですね。特に文章問題は全然できませんでした。知的障害の診断を受けた時に「一般的な人より情報処理能力が低い」と言われて、思い当たることがありました。例えば、一気に色々話されると混乱するし、物事を理解するときに時間がかかることがあります。

●大人になってご自分のことが色々わかつたんですね。双極性障害のほうについてもきいていいですか？

○はい。双極性障害は、躁状態と鬱状態を繰り返す病気です。まず、躁のときは洋服や家電などの買い物をたくさんしてしまったり、「今買わなきゃ！」という焦燥感に襲われて、手持ちのお金もなくなるくらい使ってしまう。後で足りなかつた分を父が払っていてくれたこともありましたが。

●焦って歯止めがきかなくなってしまうんですね。逆に鬱のときはどうですか？

○鬱のときは、朝起きることが出来ません。だるくて布団から起き上がれないんです。あとは、薬を飲まなくなります。

●薬を飲まないとは症状は悪化してしまうのでは？

○そうですね。どんどん悪くなつていくので、このままではまずいということになり、グループホームの世話人の方に、薬の管理を細かくしてもらっていました。自分一人だと全く飲まないのだから、それに加えて食欲がなくなったり、倦怠感もすごくて。

●先ほど言っていた、9か月の入院のときもそのような感じだったんですね。

○はい。入院前は一般企業の障害で働いていました。そこを辞めた後、病状が悪化して医療保護入院をしました。

●そうだったんですか…。その障害でどんな仕事をしていたんですか？

○主にお惣菜コーナーで調理をしていました。かなり忙しい店舗でフルタイムでした。その前は一般社でレジ打ちをしていました。

●どちらも大変そうですね。でも元々バリバリ働いていたSさんなら、うちのようなB型事業所でもなくても、体力が戻れば障害枠に復帰することも可能だったんじゃないですか？

○もちろん、それも考えました。実はエスプリドゥの見学前に行ったのは、特例子会社の実習だったんです。でも実習中に強いストレスを感じて、吐き気が止まらなくなりました。自分にはまだ一般就労は早いなだなって思っていました。それで、そのことを訪問看護の方に相談したら、エスプリドゥを紹介してくださつたんです。

●それでうちに体験にいらつしゃつたんですね。体験に来てみていかがでしたか？

○楽しかつたです。ここで初めて作つたあんぱんを、持つて帰つて自分で食べてみて、それがおいしかったのが嬉しくて。お客さんに

も自分が作つたパンを食べてほしいなって思いました。それでエスプリドゥに入りたいと思つたんです。

●実際にうちで作業をするようになってみてどうですか。働きやすいですか？

○はい。私は終日通所しているのですが、午前は2時間半、午後は2時間の作業時間ですが、その間に30分ずつ休憩があることが助かっています。こまめに休憩が取れるので、疲れすぎずに無理なく作業ができています。

●ありがとうございます！たくさん褒めてくださいました。笑）逆に困っていることや不安なことはありませんか？

○たまに自分の手が震えることがあつて…それが不安です。製パンができなくなつたらどうしようと思つて。震えを止めるための薬も飲んでいますが、効かないところもあるので。

●そういうときはできることだけやつてもらえれば良いですよ。休憩しても良いですし。製パンにこだわらなくても、清掃や簡単な軽作業もありますから。

○ありがとうございます。そういったところも安心です。

●最後に、Sさんの今後の目標を教えてください。

○エスプリドゥのパンを全て作ることができるようになることです！ ●ありがとうございます！ 今後もし一緒にパン作り頑張っていきたいですね。



利用者さんインタビューに関する用語解説

- ・双極性障害・気分障害に属する精神疾患。躁状態と鬱状態を繰り返す。通称「躁うつ病」とも呼ばれる。
- ・グループホーム・障がい者や疾患をもつ人が専門スタッフまたはヘルパーの支援のもと、集団で生活を営む施設のこと。
- ・障害枠・企業が障がい者を雇用するために設けられた雇用枠のこと。
- ・一般枠・健常者が受ける雇用枠のこと。
- ・特例子会社・病気や障害のある人の就労に特別な配慮をしている、企業の子会社のこと。一般企業に比べて障害や特性に対するサポートを受けられやすく、比較的働きやすい。

パ

ン

作

り

親

子

体

験

教

室

エスプリドゥでは、定期的に親子向けのパン作り体験教室を実施しています！お手頃価額でお子様とパン作りの思い出を作ることができます。秋の体験教室でみなさまに作っていただいたのは、

- ・ハロウィンの期間限定の「おばけパン」
- ・パンに入れる餡を自由に選ぶことができる「ねこパン」
- ・「コロケバーガー」

この3種類のパンです♪参加して下さったみなさまの笑顔あふれる楽しい体験教室になりました(^^)



障がい者総合支援法

就労継続支援B型事業所

エスプリドゥ

事業所番号：1312303223



↑ブログ & Instagram更新中♪

〒132-0033

東京都江戸川区東小松川

1-13-1 1F・2F

TEL：03-5879-4792

FAX：03-5879-4793

卒業
おめでとう

この秋、エスプリドゥでは一般就職への内定者が2名出ました！

ご卒業は寂しいですが、利用者様の就職が決まることは私たちスタッフにとっても嬉しいことです。就職先でもがんばってください！スタッフ一同、心より応援しています。



- JR「新小岩駅」バス10分
- 都営新宿線「船堀駅」バス5分
- 東京メトロ東西線「葛西駅」バス15分
- 都営バス「東小松川一丁目」下車徒歩1分



他、亀戸・錦糸町・平井・一之江からも都営バス1本

エスプリドゥは、障がいや疾患をお持ちの方が、訓練をしながらスキルを身につけ、就職を目指すことができる場所です。少しでも気になった方は、ぜひ一度お問い合わせください！